

2015 滋賀びわこ総文 PRマスコト 愛称決まる

2年5組・新聞部

高田美希さん作

うみなほ 湖楠



命名の由来

は琵琶湖の「湖」から、
は石楠花(しゃくなげ)の
「楠」からとりました。

「滋賀県の一番の特徴である琵琶湖を愛称に入れよう」と思い、それに足すならば、県花のしゃくなげが相応しいと思いました。

『しゃくなげ』を漢字でどう書くのかを知っている人は少ないと思ったので、キャラクターの名前に付けたらみんなが覚えてくれるだろうと思い、この名前にしました (話:高田美希さん)

「漢字覚えてほしい」

絵:信楽高校平成24年度卒業生 山岸真奈絵さん
制作意図:「滋賀の花のしゃくなげをモチーフにデザインしました。ところどころにつほみがあるのは、高校生のみんなの「可能性」をイメージしてデザインしたからです」(滋賀県公式PDF資料より)



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校

新聞部

彦根市金亀町4番7号

大会テーマ 鈴木君に続き

から2人目の快挙

滋賀県教育委員会は、2015年に本県で開催される全国高等学校総合文化祭滋賀大会『2015滋賀びわこ総文』をPRするマスコトキャラクターの愛称を募集していたが、この度本校の高田美希さん(2-5)の作品「湖楠(うみなほ)」が採用された。同キャラクター(上)は、信楽高校の昨年度の卒業生、山岸真奈絵さんによりデザインされたものだ。

高田さんの所属する新聞部の鈴木真由美先生は「部のみんなが頑張って愛称を考えていたのが実を結び嬉しい。これから『湖楠』が登場するたびに部員の顔を思い出し、より愛着が湧くことだろう。『ぎんにゃん』と同じくらい「いきたい」とコメントされた。

高田さんは「とても驚いた。私の周りでも多くの人が応募していたが、まさか私の付けた名前が選ばれるとは」という思いがいっぱいで、未だに

高田さんの他に、鈴木亮大君(3-5)の応募した『びわこ総文』の大会テーマ『翔びたとう創造の翼できらめく湖から』が採用されており、本校から2人目の快挙となった。

▶愛称の決定を喜ぶ笑顔の高田さん

